

研究室近況

昭和50年1月より本学が日本社会事業学校連盟会長校に選出され、本学科主任松本武子教授が会長に就任、本学科が事務局を担当することになった。

3月25日には大学院文学研究科社会福祉学専攻博士過程(前期2年<修士過程>、後期3年)の増設が文部省より承認され、4月28日、修士過程の入学試験ならびに審査が行われた。その結果14名の応募者中4名の入学が許可され、5月12日入学式が挙行された。

昭和50年度特別講義として、4月より高沢武司先生「社会福祉施設論」、早川和男先生「住宅行政と住宅問題」、加藤康昭先生「盲人社会史」をおむかえしまた専任の小島蓉子助教授が「障害者福祉」を担当した。

6月には佐藤進教授がILOにおける婦人人権条約討議に出席ならびに調査のため欧州諸国に出張、8月上旬、松本教授は日本社会事業学校連盟会長としてパリにおける国際社会事業学校連盟理事会に出席、下旬には香港大学におけるアジア地区社会事業教育連盟総会ならびにセミナーに出席した。同じく8月下旬、小島助教授はアメリカ社会福祉事情視察セミナーの講師として北米に出張、岩本も同行した。10月には名古屋の日本福祉大学にて日本社会事業学校連盟総会および日本社会福祉学会が開催され、研究室スタッフ出席また11月には日本社会事業学校連盟主催の第5回社会福祉教育セミナーが熱海にて開かれ、松本教授、佐藤教授、小島助教授、宇都助手、大友助手、岩本が出席した。

12月には労働省の依頼により小島助教授がヨーロッパにおける障害者雇用政策の調査のため欧州へ出張、また一番ヶ瀬康子教授は「養育院百年史」の編纂、執筆により第一回今和次郎賞を受賞、なお同教授はストックホルム大学社会研究所の客員研究員として約一年の予定で海外出張することになり、昭和51年1月4日スウェーデンに出発した。

同じく1月、宇都栄子助手は、大学婦人協会より国内奨学生研究学徒として奨学金を授与された。

次に研究室スタッフの最近の主たる著作・論文等を

記す。

松本武子教授

『乳児保育要説』編著 家政教育社 昭和50年5月

「教護院の発展過程と実態に関する一研究」『社会福祉』18号 日本女子大学社会福祉学科 昭和50年3月

昭和50年度厚生科学研究「里親制度の進展に関する研究」主任研究者として報告

昭和50年度文部省科学研究「教護院の発展過程と実態に関する一研究」を報告

佐藤進教授

「医療保障」ほか、小山・山本編著『社会保障教室』所収 有斐閣 昭和50年9月

「ILO102号条約とわが国の社会保障法の問題点」月刊『社会保障』 昭和50年5月

「低経済成長下の福祉状況——第75国会の社会保障関連立法の改正を通じて——」ジュリスト592号 昭和50年10月

「社会保障法と英米法」ジュリスト600号 昭和50年11月

「西欧の老令福祉行政体系と老令福祉施設」ILO『世界の労働』 昭和50年11月

「社会保障の制度維持主体の問題点」季刊『社会保障』10巻3号 昭和50年1月

「最高裁判例批評」『民商法雑誌』 昭和50年2月

一番ヶ瀬康子教授

『社会福祉は変わる』風媒社 昭和50年9月

『現代の社会福祉』春秋社 昭和51年2月

『養護問題の今日と明日』編著 ドレメ出版 昭和50年7月

『障害児問題の今日と明日』編著 ドレメ出版 昭和50年7月

『“遊び場”問題の今日と明日』編著 ドレメ出版 昭和50年7月

『生活学習と生活運動』編著 ドレメ出版 昭和50年7月

『児童福祉行政の焦点』編著 都政人協会 昭和50年8月

『社会福祉論(新版)』編著 有斐閣 昭和50年11月

『入門女性解放論』編著 亜紀書房 昭和50年11月

『児童政策——児童問題講座1』編著 ミネルヴァ

書房 昭和51年1月
調査報告『婦人パートタイマーの実態』 東京都
昭和50年4月
『『窮民』生活史の一断片——東京養育院100年史
前史』 『生活学』1 昭和50年12月
『社会福祉と労働者福祉の問題点と課題』 『労働
者福祉研究』6号 昭和51年3月

田端光美助教授

『農村の地域社会の実態に関する調査研究』 共同執
筆 農林省 昭和50年3月
『農村の老人問題』 一番ヶ瀬と共同 日本女子大農
家生活研究所 昭和50年3月

小島蓉子助教授

『海外のリハビリテーションの動向 上 アメリカ』
『手足の不自由な子どもたち』NO.188 昭和50
年4月

『海外のリハビリテーションの動向 下 ソ連』
『手足の不自由な子どもたち』NO.189 昭和50
年5月

『アメリカ合衆国の職業リハビリテーションと雇用
対策——諸外国における身体障害者雇用対策の研究』
労働省 昭和50年5月

『リハビリテーションにおける人間の思想と科学の
出逢いをもとめて』 『総合リハビリテーション』
3巻5号 医学書院 昭和50年5月

『海外の女教師たちの生き方 その1 カナダ・ス
ウェーデン』 『家庭科教育』49巻8号 家政教育
社 昭和50年7月

『海外の女教師たちの生き方 その2 ソ連』49
巻9号 家政教育社 昭和50年8月

『コミュニティープランニングの課題——国連社会
福祉活動事例を通じての考察——』 『ソーシャル
ワーク研究』1巻3号 相川書房 昭和50年8月

『身体障害者職業更生における職業訓練の役割と課
題』 『職業訓練』17巻9号 労働省職業訓練局
昭和50年9月

『文献紹介——児童福祉関係最近の米・英の基礎・
専門文献を中心として——』 『世界の児童と母性
海外福祉情報』創刊号 資生堂 昭和50年11月

『医療ソーシャルワーカー教育の現状と将来の展望』
『医学教育』6巻6号 日本医学教育学会 昭和
50年12月

『欧米の障害者福祉の動向——低成長期の社会福祉
政策の苦悶と克服の方向性（北米編）——』 『総

『総合リハビリテーション』4巻2号 医学書院

昭和51年2月

『職業リハビリテーションの定義と対象』 『総合
リハビリテーション』4巻2号 医学書院 昭和
51年2月

『国際理解を深めるために その1 生活を通じて
の国際交流』 『家庭科教育』50巻2号 家政教
育社 昭和51年2月

『心身障害児のためのコミュニティーケア』

『子どもと家庭』NO.72 日本児童問題調査会 昭
和51年3月

・研究発表 Activities of Medical Social
Workers and their Problems in Japan.

『医療と教育に関する国際セミナー』 昭和50年
7月3日～5日（ライフプランニングセンター主催）
発題スピーチ並にパネルに参加（用語英語）。

宇都栄子助手

『戦前における児童政策』 一番ヶ瀬康子編『児童
政策 児童問題講座第1巻』所収 ミネルヴァ書房
昭和51年1月

『わが国の戦前の精神薄弱者施設の総合的研究X』
日本社会福祉学会にて共同発表，「学園設立の背景
と運営上の財政的特質」担当，『第23回大会 自
由論題報告論文要旨集』所収

（昭和51年3月 岩本記）